

# 愛媛県原子力センター

Ehime Prefectural Nuclear Safety Center (ENSC)



愛 媛 県

# 概要

愛媛県原子力センターは、伊方発電所周辺の安全確保と環境保全を図るため、愛媛県・伊方町と四国電力(株)との安全協定に基づき、周辺環境の放射線等の監視（環境放射線モニタリング）や発電所への立入確認を行う愛媛県の機関です。



## <アクセス>

松山空港から国道378号経由 車で約120分

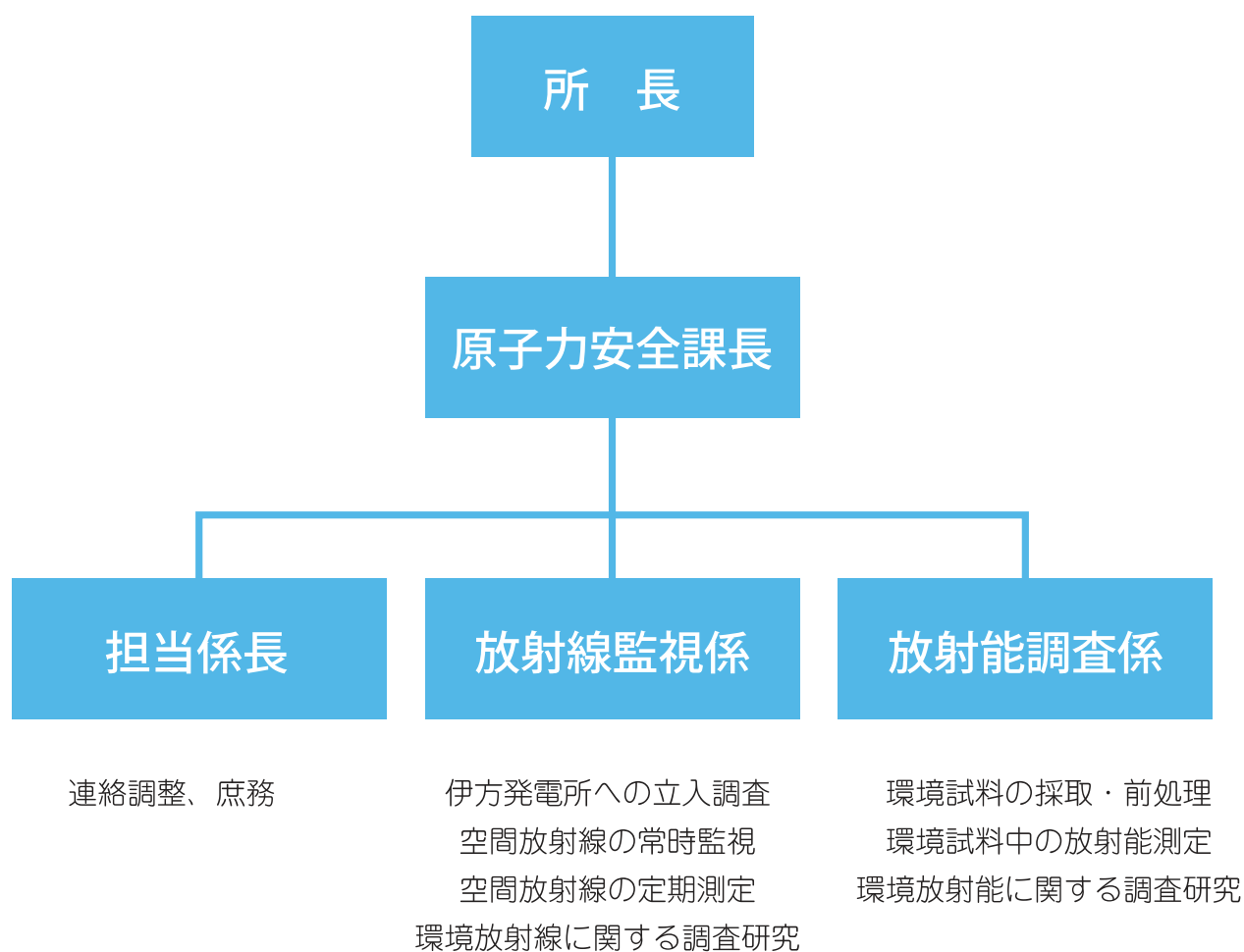
松山道大洲ICから大洲道路経由 車で約45分

JR八幡浜駅から三島神社前下車 バスで約20分

## 沿革

昭和49年 4月	公害研究所（松山市）に放射能科設置
平成5年 4月	公害研究所が公害技術センターを経て環境保全センターに改称
平成10年 4月	衛生研究所と統合し衛生環境研究所に改称
平成15年 4月	放射能科を環境調査課に拡充
平成20年 4月	八幡浜保健所（八幡浜市）に原子力安全室を設置し、 衛生環境研究所環境調査課の放射線監視業務を移管
平成22年10月	現在地（八幡浜市保内町）に原子力センター開所 （衛生環境研究所環境調査課と八幡浜保健所原子力安全室を集約）

## 組織・業務



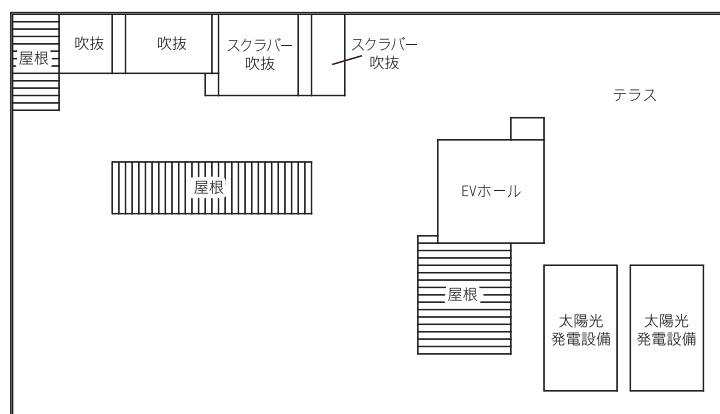
# 施設

建 物 鉄筋コンクリート2階建て  
 建物面積 延べ約1,700㎡  
 敷地面積 約2,600㎡

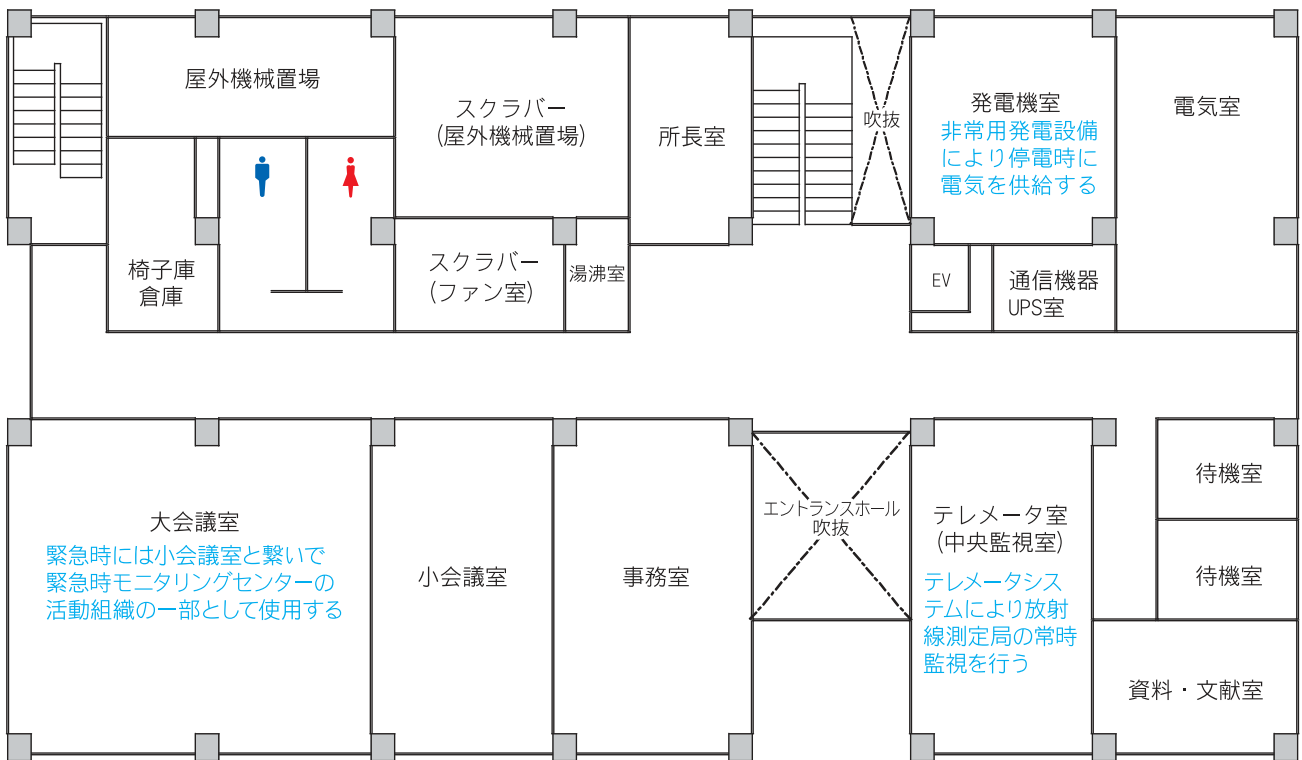
- 環境試料を取り扱う試料前処理室や化学分析室および重量物の多い測定室を1階、放射線監視関係施設を2階に配置するなど、作業の動線や効率を考慮して部屋を配置
- 非常用発電設備、防潮扉・防潮壁、強化耐震設計など防災対策を充実
- 新工ネ・省工ネ設備（太陽光発電、雨水利用、自然採光）や植栽など、環境や周辺に配慮



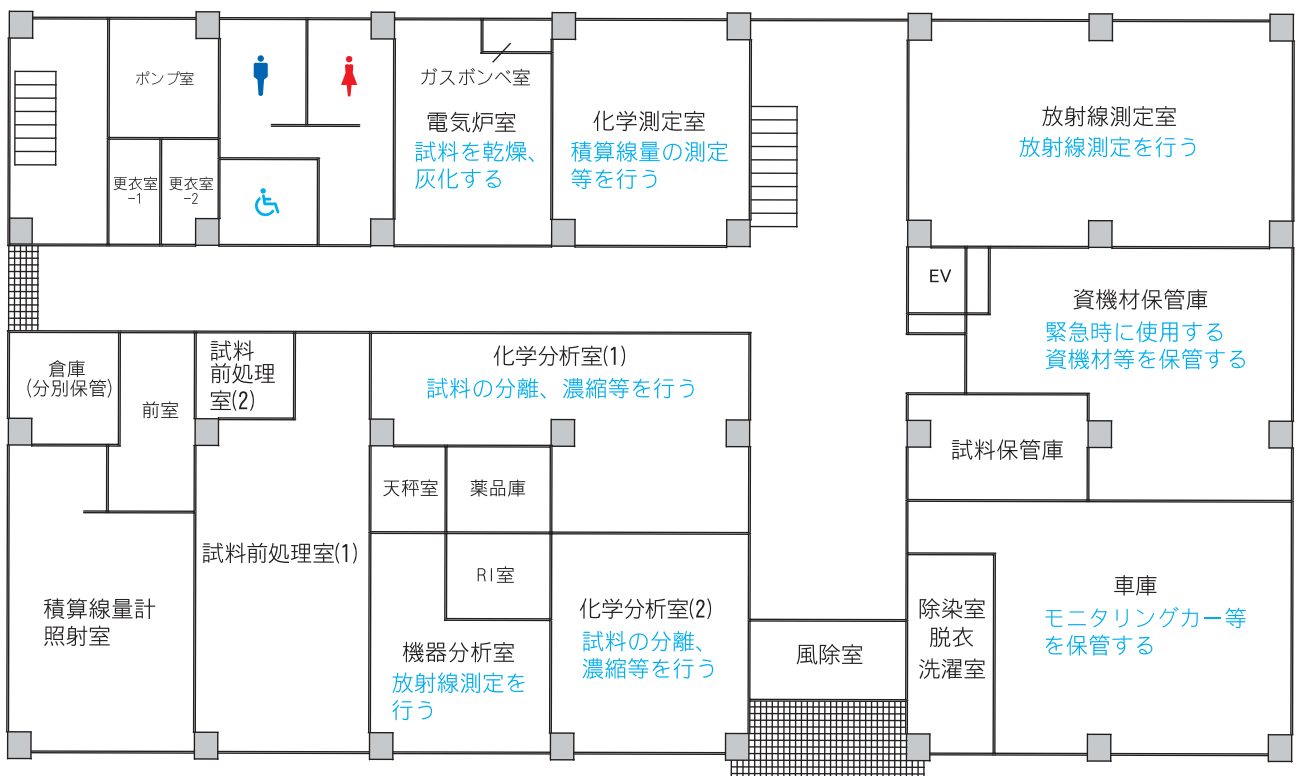
RF



## 2F



## 1F

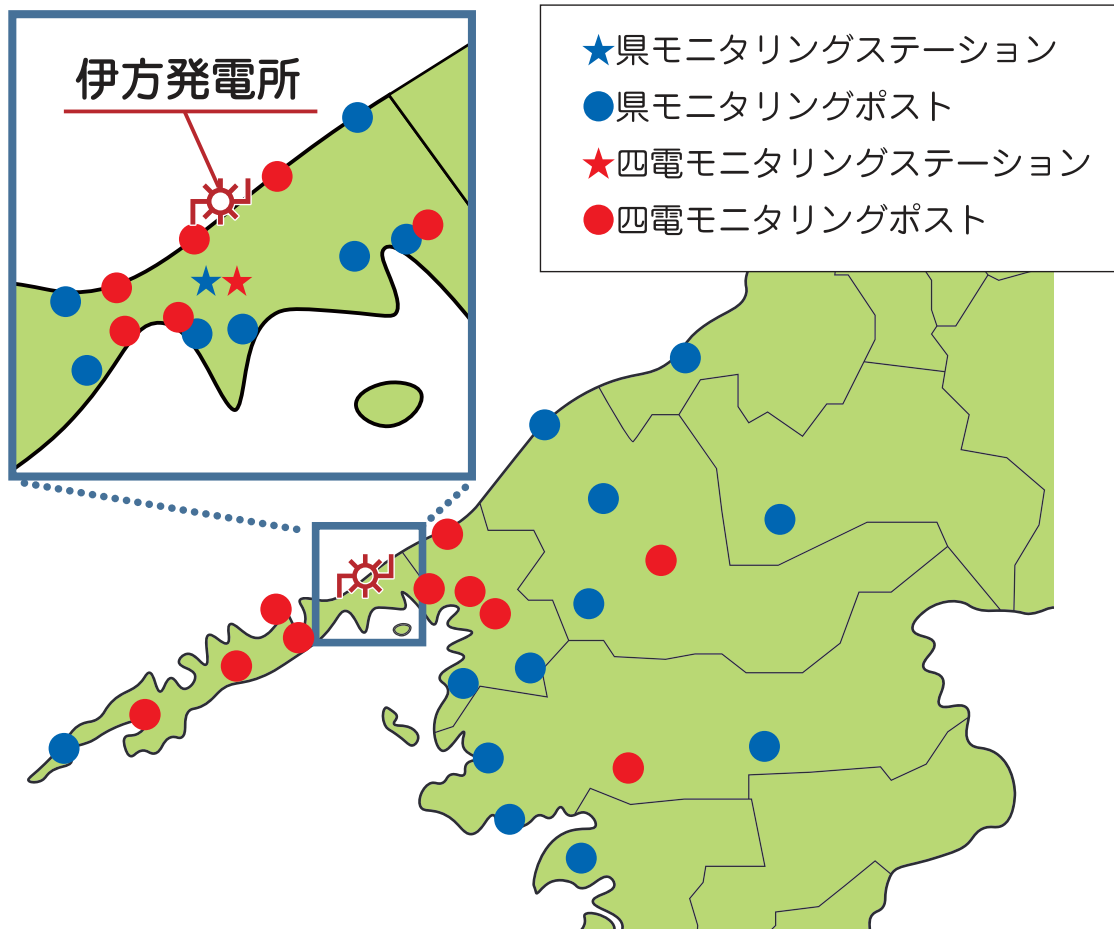




## 放射線監視

愛媛県では、伊方発電所から概ね30km圏内に、固定観測局（モニタリングステーション1局、モニタリングポスト19局）を設置して、空間放射線等を連続測定しています。

これらの連続測定データは、四国電力㈱の測定データとともに環境放射線監視テレメータシステムにより光回線等を通じて中央監視局(原子力センター)および副監視局(県庁)に収集し、異常の有無を常時監視しています。



愛媛県では、周辺住民等の被ばく線量の推定・評価や、緊急事態が発生した場合への平常時からの備えを目的として、可搬型モニタリングポストなどの放射線測定器による定期測定を行っています。



可搬型モニタリングポスト



サーベイメータ

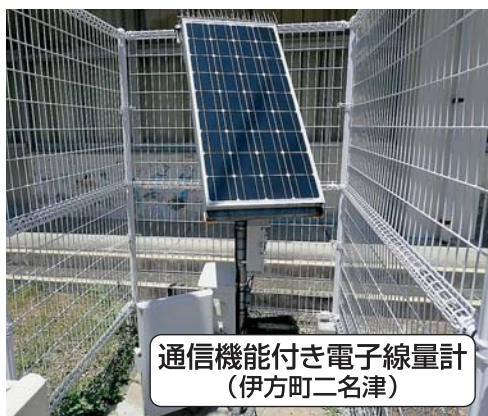


モニタリングカー

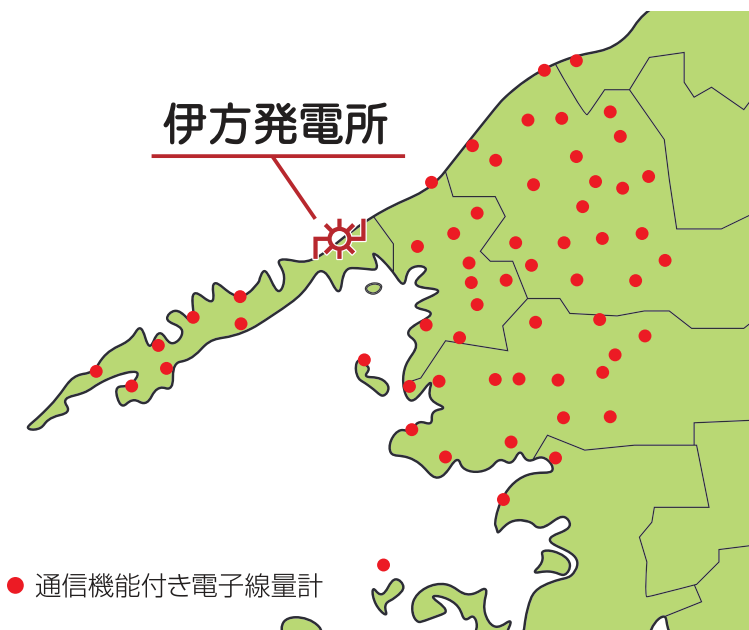


蛍光ガラス線量計  
(収納用の木箱)

また、緊急防護措置を準備する区域（伊方発電所から概ね5km～30km圏内）における避難等の防護措置を判断するため、通信機能付き電子線量計を58地点に設置しています。なお、緊急時の運用に際し、設置地点における線量の水準を把握する必要があることから、平常時から測定を行うとともにデータを公表しています。



通信機能付き電子線量計  
(伊方町二名津)





# 放射能分析

愛媛県では、伊方発電所周辺で大気や土壌などの環境試料や飲食物を採取し、その中に含まれる放射性物質を分析し、伊方発電所からの影響がないか確認するとともに、環境における放射性物質の蓄積状況を調査しています。



採取する環境試料や飲食物は、採取地点を伊方発電所からの方向や距離で考慮するとともに、被ばく線量評価上重要な飲食物を国が示す食品の摂取モデルを参考に選定しています。また、放射性物質の蓄積状況を把握するため、発電所周辺の土壌や海底土を採取しています。





放射能分析は、対象となる放射性物質によって放出される放射線（アルファ線、ベータ線、ガンマ線）が異なることから、その放射線の種類に応じて、採取した試料を乾燥・灰化等の前処理や、薬品による化学処理を行います。



前処理や化学処理をした試料は、対象となる放射性物質に応じた機器を用いて放射能濃度を測定します。



## 伊方発電所への立入調査

愛媛県・伊方町と四国電力㈱との安全協定に基づき、伊方発電所からの異常通報連絡を受けて発電所に立ち入りを行い、異常発生時の状況やその後の復旧対策状況、再発防止対策を確認します。

新燃料の搬入、使用済燃料の搬出や構内輸送、および低レベル放射性廃棄物の搬出等に立ち会い、安全な実施を確認します。

放水口で定期的に排水を採取し、水質や水温を分析確認します。

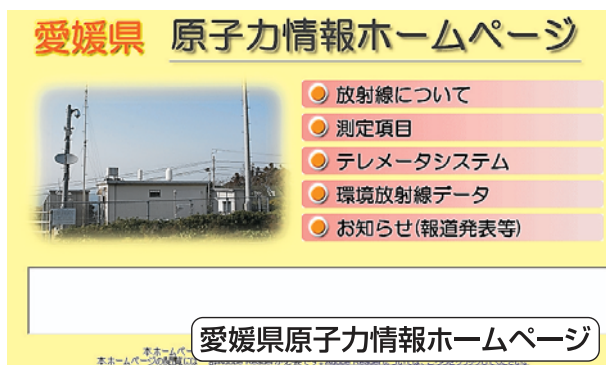


## 調査結果の公表および施設公開

原子力センターが実施している伊方発電所周辺の環境放射線等調査結果は、四半期ごとに愛媛県が報道機関への公表やホームページへの掲載を行うとともに、広報誌「それいゆ」で地域住民の皆さんにお知らせしています。

また、モニタリングポストなどの固定観測局で測定した空間放射線等の連続測定データは、インターネットおよびスマートフォンアプリでリアルタイムに公開しています。

なお、原子力センターの施設は、随時、一般に公開しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。



【愛媛県原子力情報ホームページ】

<https://www.ensc.jp/>

【愛媛県原子力情報アプリ】

右のQRコードからダウンロード可能  
(iPhone、Android共通)



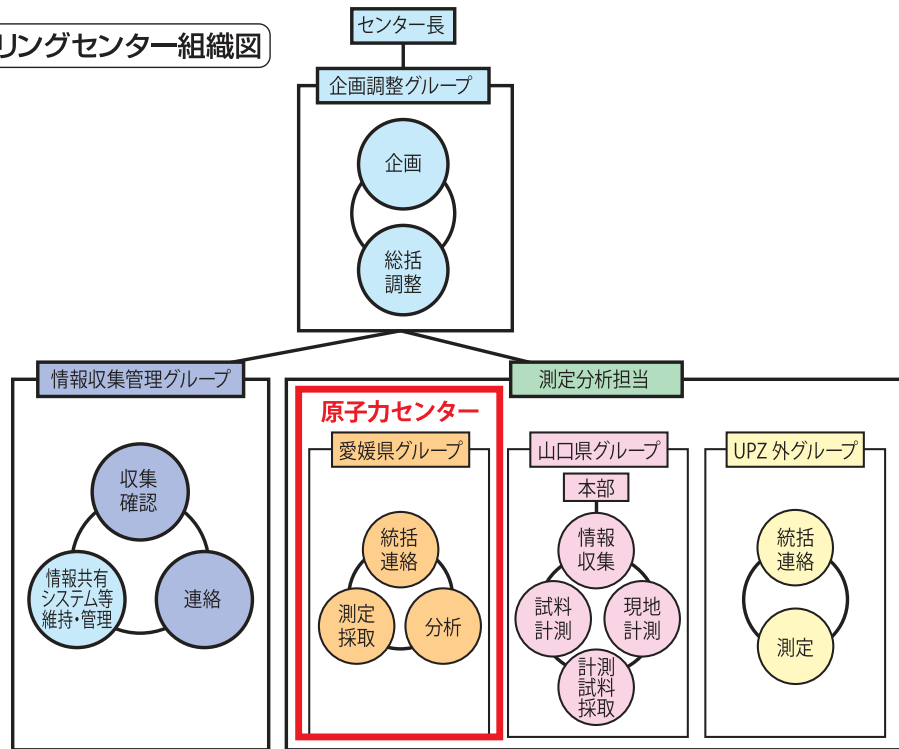


# 緊急時モニタリング

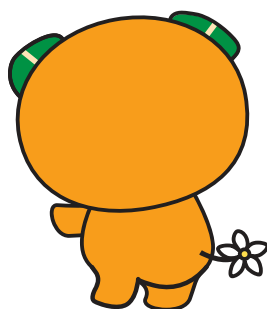
緊急時には、国が統括する緊急時モニタリングセンターの測定分析担当として、原子力センターでは可搬型モニタリングポストの設置、環境試料の採取などの緊急時モニタリングや試料の前処理および測定、測定データの報告等を行います。

また、原子力防災訓練や研修を通じ、緊急時モニタリング要員の技能習熟や関係機関との連携確認等を行っています。

緊急時モニタリングセンター組織図



原子力防災訓練の様子



## 愛媛県原子力センター

---

〒796-0202 愛媛県八幡浜市保内町宮内1番耕地485番地1

TEL 0894-20-6610

FAX 0894-36-1150

メール [genshiryoku-center@pref.ehime.lg.jp](mailto:genshiryoku-center@pref.ehime.lg.jp)

HP <https://www.pref.ehime.jp/h15105/genshiryoku/>